

おかやま協働のまちづくり大賞募集要項（案）

1 趣旨・目的

豊かで活力ある持続可能な地域社会の実現のため、多様な主体が地域づくりの当事者として、それぞれの知恵と力を最大限に生かし、協働して地域の社会課題解決をすすめる優れた取組（プロジェクト）を表彰し、協働のまちづくりを推進します。

2 平成28年度表彰対象テーマ（課題）

「子どもの笑顔」

子どもたちの健やかな成長と笑顔を願わない人はいません。けれど、貧困、障がい、不登校、いじめ、虐待 e t c…と、子どもらしく、子ども時代を過ごすことが困難な子どもたちが多いのも確かです。表彰制度初年度の今年は、子どもたちの笑顔を守り育むためのプロジェクトを応援します。



3 表彰対象のプロジェクトの要件

次の要件を満たすプロジェクトが表彰対象です。

- (1) 平成28年度のテーマの分野での課題を解決するため、多様な主体が知恵と力を発揮し、子どもの笑顔を阻むものを取り除く、あるいは子どもの笑顔をふくらませるために、協働して取り組んでいる「すぐれた取組（プロジェクト）」。
- (2) 解決をめざす社会課題が明確であり、プロジェクトにより一定の成果があがっていること。また、今後の成果が期待できるものであること。
- (3) 解決のために、多様な主体がその特性を発揮し、役割分担を明確にして、共有する目的のために活動していること。
- (4) 原則として岡山市内のプロジェクトであること（岡山市における地域貢献性が高いものであること）。ただし、市外で実施することにより、岡山市の社会課題解決につながる事が明白な場合はその限りでない。
- (5) 地域資源の活用や人的資源の活用などがされているものであること。
- (6) 10人以上の活動者がおり、一過性のものでなく、継続性のある取組であること。
- (7) 独創的で、先駆性のある取組であること。

※多様な主体とは、住民自治組織、NPO 法人その他の市民活動団体、事業者、学校等
地域の社会課題解決に関する取組を行う全ての個人及び団体並びに市。

※宗教、政治又は営利を主たる目的とする活動及び、暴力団又は暴力団員の統制の下にある活動は対象としない。

4 応募方法

別紙応募用紙に記入し、プロジェクトの概要と協働している団体のわかるものを添付して応募してください（郵送・持参または電子ルール）。★自薦、他薦のいずれも可。

★申し込み先 〒700-8544 岡山市北区大供 1-1-1

岡山市市民協働企画総務課

電話 086-803-1062 e-mail :kyoudou@city.okayama.jp

★募集締め切り 平成 28 年 12 月 8 日（木）必着

5 選考方法

(1) 第1次審査（平成 29 年 1 月）

岡山市協働推進委員（16 人）による書類選考。入賞プロジェクト数件に絞ります。

- 審査基準
- ① 成果の妥当性（解決をめざした課題の成果）
 - ② 協働力（協働の原則に照らした協働の成果）
 - ③ 地域への貢献度
 - ④ 地域資源の活用 人的資源の活用
 - ⑤ 継続力（今後への継続性）
 - ⑥ 先駆性、独創性

(2) 最終審査（平成 29 年 2 月）

「市民協働フォーラム」において、岡山市協働推進委員及び市民審査員により選考します。

審査方法

- ①市民審査員（参加者を公募）ワークショップ
審査の視点を高めるためのワークショップを行う
- ② 入賞団体による公開プレゼンテーション等
- ③ 市民投票
- ④ 協働推進委員の審査員点に市民投票の点数を加算し「大賞」を決定
- ⑤ 表彰式

6 表彰 平成 29 年 2 月実施の市民協働フォーラムで表彰します。

大賞 1 プロジェクト 賞金 10 万円と表彰状

入賞 4 プロジェクト以内 賞金 5 万円と表彰状

★大賞受賞プロジェクトについては、プロジェクトを取材し 5 分の動画番組を作成します。また oni ビジョンで 2 か月間放送します。その他、協働プロジェクトを継続し発展させていくためのサポートが受けられます。

優れた「地域の社会課題解決に関する取組」表彰の名称と 平成28年度テーマについて

1 表彰の名称

- ア おかやま協働のまちづくり大賞
- イ まちづくり桃太郎大賞
- ウ ぼっけえまちづくりアワード
- エ おかやま・まちづくり・協働大賞
- オ 協働★ももたろう大賞



2 平成28年度の募集プロジェクトのテーマ

- ア 素敵なまちの風景をつくろう
 - イ 介護・高齢者を支えるまちづくり
 - ウ 安全・安心なまちづくり（防災、交通安全、防犯）
 - エ 子どもの貧困対策
 - オ 子育て支援、少子化対策
- +
- カ 歴史と文化が薫り、誇りと一体感の持てるまちづくり
 - キ 安心して子育てができ、若者や女性が輝くまちづくり
 - ク 住み慣れた地域で安心して暮らせる健康・福祉のまちづくり
 - ケ 地域力を生かした災害に強く安全・安心なまちづくり
 - コ 豊かな自然と調和した市民の手による持続可能なまちづくり
 - サ 岡山市への新しいひとの流れをつくるとりくみ

※カ～サは、岡山市第6次総合計画の「都市づくりの10の基本方向」
岡山市まち・ひと・しごと創生総合戦略の「基本目標」から



○計画の基本方針に沿ったものがよいのではとの意見については、評価の視点に盛り込んでどうか。

- ・人がそだち団体が育つ取組
- ・多様な主体のつながりが生きた取組
- ・情報の発信・共有
- ・市役所の協働化が進んだ取組
- ・協働意識の醸成が顕著な取組

○参考) 岡山市のまちづくりの方向性について

- 岡山市第6次総合計画の都市づくりの10の基本方向
 - ・地域経済の活性化による魅力と活力あふれるまちづくり
 - ・コンパクトでネットワーク化された快適で多様なまちづくり
 - ・歴史と文化が薫り、誇りと一体感の持てるまちづくり
 - ・安心して子育てができ、若者や女性が輝くまちづくり
 - ・つながる教育で未来を拓く人材を育むまちづくり
 - ・理解を深め合い、ともに築く市民主体のまちづくり
 - ・住み慣れた地域で安心して暮らせる健康・福祉のまちづくり
 - ・地域の力を生かした災害に強く安全・安心なまちづくり
 - ・豊かな自然と調和した市民の手による持続可能なまちづくり
 - ・圏域をリードし、都市の持続的発展を支える都市経営
- 岡山市まち・ひと・しごと創生総合戦略の基本目標から
 - ・岡山市の強みを活かし、安定した雇用と活力を創出する
 - ・岡山市への新しいひとの流れをつくる
 - ・若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる
 - ・安全・安心に暮らせるまちをつくり、地域と地域を連携する
- 平成27年度市民意識調査
行政施策の満足度・重要度について（抜粋）